

旭川市の決算状況



決算は、4月から翌年3月までの1年間にどのような収入があり、何にどれだけお金を使ったのかという結果です。令和5年度の決算と財政の状況をお知らせします。
【詳細】財政課☎25・5672

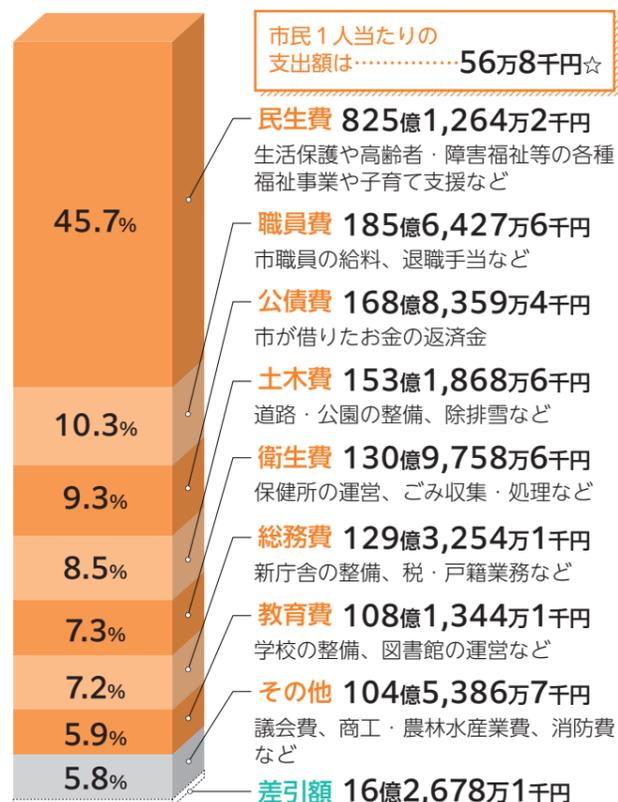
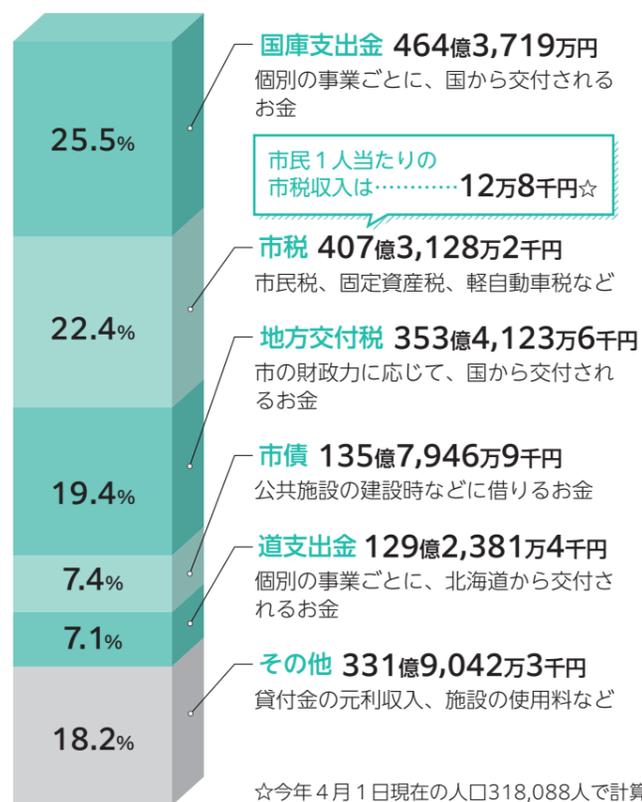


一般会計

道路や公園の整備、学校の建設、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理、健康づくりなど市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です

収入 1,822億341万4千円
(前年度比 87億6,519万2千円減)

支出 1,805億7,663万3千円
(前年度比 64億1,583万5千円減)



市民1人当たりの支出額は………56万8千円☆

☆今年4月1日現在の人口318,088人で計算。

①収入と支出の差引額 16億2,678万1千円

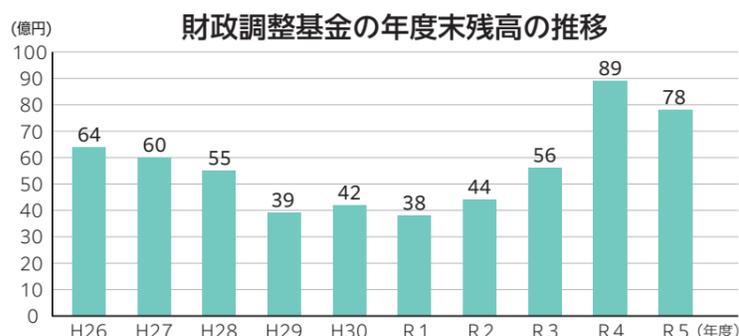
②令和6年度に繰り越した事業に使う額 5億8,896万2千円

➡ ①から②を差し引いた③実質的な収支額は**10億3,781万9千円**となります

市の貯金の状況は？

財政調整基金は、災害などの予期しない支出や年度間の財政調整のための貯金です。令和5年度は積立額以上に取り崩したため、年度末残高は前年度より減少して78億円になりました。

※条例に基づき、③の半分（5億円）を積み立てたため、同6年6月時点の残高は83億円です。



特別会計

市民の皆さんが納めた保険料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です

会計名	収入	支出	収入支出差引額
国民健康保険事業	348億305万3千円	346億2,222万3千円	1億8,083万円
動物園事業	18億6,221万5千円	18億6,221万5千円	0円
公共駐車場事業	7,625万5千円	7,625万5千円	0円
育英事業	2億117万8千円	1億9,936万6千円	181万2千円
介護保険事業	371億4,346万3千円	367億1,732万4千円	4億2,613万9千円
母子福祉資金等貸付事業	3億4,546万3千円	1億5,308万1千円	1億9,238万2千円
後期高齢者医療事業	58億4,220万1千円	58億3,976万9千円	243万2千円
合計	802億7,382万8千円	794億7,023万3千円	8億359万5千円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です

会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	67億3,507万2千円	53億8,939万6千円	13億4,567万6千円
	資本的	35億5,356万5千円	70億138万2千円	△34億4,781万7千円
下水道事業	収益的	89億1,166万1千円	83億4,687万円	5億6,479万1千円
	資本的	23億7,818万3千円	55億627万4千円	△31億2,809万1千円
病院事業	収益的	121億2,306万5千円	127億2,213万3千円	△5億9,906万8千円
	資本的	15億5,132万円	20億5,674万6千円	△5億542万6千円

※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。
※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。
※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金で補填しました。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、資金を調達する他に、世代間の負担を公平にする役割もあります。令和5年度は新庁舎の整備に伴う借入れで、前年度より建設事業等債は増加したものの、市債残高全体では減少傾向です。

特別減収対策債等

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の不足分を補うために令和2年度に借入れたお金

臨時財政対策債

国の財源不足による地方交付税の不足分を補うために借入のお金

建設事業等債

道路や学校などの建設事業等に必要の財源として借入のお金

市債の年度末残高の推移（一般会計）



※臨時財政対策債の返済費用は後年度の地方交付税の必要額に算入され、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように措置されることになっています。